

# 令和4年度 施策評価シート 《令和2年度・令和3年度評価》

評価日	令和4年10月31日	No.	1 - 1
-----	------------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第1節 コミュニティ活動の推進	所管部署名	市民生活部	
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり（市民交流部門）	評価責任者	荒川 泰弘	
	施策小項目	1 自治会活動の支援	関連部署名(1)	市民生活部市民参加推進課	
		2 コミュニティ活動の支援	関連部署名(2)		
			関連部署名(3)		
		関連部署名(4)			
施策の目的	・すべての人と人が結びつき、相互に理解し深く関わりあう地域社会の実現をめざす。		役割分担	市民の役割 ・自治会活動への理解や加入の必要性の認識を高め、地域活動への参加に努める。 ・自治会、ボランティア団体、NPOなどの市民活動団体は、団体間の交流に努めるとともに、地域住民の理解を深めるために自らの活動内容の情報発信に努める。	
施策に関する個別計画					行政の役割 ・自治会加入促進を強化するとともに、自治会活動を支援する。 コミュニティ活動活性化のための情報を提供するとともに、各団体間のネットワークづくりを支援する。

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
①	地域コミュニティ活動への参加率		%	52.4	37.4	27.3	D	60.0
	増加することが良いとされる指標			H28	R2	R3		R3
②	市民活動サポートセンターの登録者（団体・個人）		団体個人	120	149	152	A	150
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3
③	自治体加入率		%	73.57	68.1	66.5	D	80.0
	増加することが良いとされる指標			H27	R2	R3		R3

評価軸	評価方法		評価点
	指標達成状況		
評価軸①	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。		合計点は 6点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	評価理由・説明 事務事業はおおむね計画どおり実行できているが、コロナ禍の中、多くの人が集まるイベント等の実施が困難な状況で、継続して啓発を実施していく必要がある。	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民ニーズは市民意識調査などで把握を行っており、参加意向の高い「清掃美化、祭りイベント等」に活用できる、自治会活動補助金等を交付し、地域活動を支援した。	4点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	事務事業の構成としては、施策の目的を達成に寄与する構成となっている。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点

評価	施策に関する現状と課題		総合評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ活動に参加しない理由は「仕事や家事などが忙しくて参加する時間がないから/53.2%」が最も多くなっている。地域コミュニティ活動そのものや必要性について市民に浸透していないことが推察できる。</li> <li>・当施策を構成している各事務事業はほぼ計画どおり実施しているが、課題として「地域コミュニティの活動や必要性」についての効果的な啓発やアプローチがあげられる。</li> </ul>		3点
			評価軸①~④の評価点の平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値			
構 成	1	501101	自治会活動支援事業	1	自治会加入率	%	80.0	66.5	現状のまま継続
	2	501103	コミュニティ施設等整備事業	2	自治会加入率	%	80	66.5	現状のまま継続
	3	501102	認可地縁団体支援事業	1	認可地縁団体の数	数	43	43	現状のまま継続
	4	501104	市民まつり事業	1	来場者の満足度	%	90	-	現状のまま継続
	5	501106	コミュニティ協議会事業	1	コミュニティ協議会主催事業の参加者数	人	520	-	現状のまま継続
す る									
事 務									
事 業									

**特記事項**

①自治会活動を支援する以下の取り組みを実施した。  
・自治会に対し、自治会活動補助金及び自治振興交付金を交付するほか、集会施設の補修工事への助成、説明会及び個別相談を行った。  
・自治会加入率向上のため、転入・転居者への情報提供サービスや不動産事業者、自治連合会との「自治会加入等促進に関する協定」に基づき自治会加入案内を行った。

②コミュニティ活動を支援し、交流の場を提供した。  
・さまざまな分野の市民団体等で構成する「コミュニティ協議会」等とともに、コミュニティ活動を支援し、交流の場を提供した。

**今後の展開**

「市民シンクタンク」や「みらいステップアップ助成金」、「NPO法人認証当事務」など、市民参画推進や市民活動団体支援に係る取組を引き続き、丁寧に行っていく。

# 令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日			No. 1 - 2		
基 本 事 項	施策名	第2節 女と男が互いに認め合う社会づくり			所管部署名	市民生活部	
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり（市民交流部門）			評価責任者	荒川 泰弘	
	施策小項目	1	男女共同参画の意識づくり	5	配偶者等に対するあらゆる暴力のない社会づくり	関連部署名(1)	市民生活部市民参加推進課
		2	男女共同参画の環境づくり			関連部署名(2)	
		3	男女共同参画推進の体制づくり			関連部署名(3)	
4		男女がともに働きやすい環境づくり			関連部署名(4)		
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての男女が自分らしく生きることができる社会をめざす。</li> <li>男女がともに働きやすい社会をめざす。</li> <li>配偶者等に対するあらゆる暴力のない社会をめざす。</li> </ul>				役割分担	市民の役割 市民の役割 市民の役割	
施策に関する個別計画	第3次吉川市男女共同参画基本計画（平成24年度～令和3年度）						
						行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画の意識向上を図るための情報提供、啓発事業を実施する。</li> <li>DV被害者の相談・支援体制の充実を図る。</li> </ul>

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）							
指	①	男女が平等であると感じる市民の割合	%	62.4	69.6	64.9	D	70.0
		増加することが良いとされる指標		H28	R2	R3		R3
標	②	市の審議会等委員の総数に対する女性委員の割合	%	26.6	27.9	31.9	D	40.0
		増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3
標	③	DV防止地域サポーターの人数	人	46	89	109	A	100
		増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3

施策の 評価	評価軸		評価方法	評価点
	評価軸①	評価軸②		
	指標達成状況		指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。 合計点は 6点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	2点
	施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（50～80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）	評価の理由・説明 コロナ禍の中、LBGTリモート討論会をオンラインで実施するなど、感染症対策を行いながら、事業を実施した。	3点
	市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民ニーズは市民意識調査などで把握しており、多様な性のあり方についてをテーマに設定して啓発事業を実施した。	4点
	施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	事務事業の構成としては、施策の目的を達成するのに十分な内容である。「女（ひと）と男（ひと）が互いに認め合う社会づくり」を推進するため、継続的に取り組んでいく必要がある。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
	施策に関する現状と課題		総合評価 3点 評価軸①～④の評価点の平均点 成果指標達成度 事務事業構成 施策進捗度 市民ニーズ反映度 施策評価レーダーチャート	
	当施策を構成している各事務事業は、ほぼ計画どおり実施しているが、目標の達成ができていない状況であり、継続して事業を実施していく必要がある。 ・「審議会等委員の女性割合」については、審議会等委員の選任を年度中に行う所管課を対象に、審議会等委員の選出母体や公募委員の状況を聞くヒアリングを実施し、指標は改善している。 ・「DV防止地域サポーター数」については、養成講座受講者のうち登録を希望しない方も多く、サポーターの役割や主旨を理解していただけるよう展開する必要がある。			

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
			成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値	
1	501201	男女共同参画推進事業	1 男女共同参画計画全体の重点事業の年度目標実行率	%	100.0	100.0	現状のまま継続
2	501202	女性総合相談事業	1 相談率	%	50.0	48.6	現状のまま継続
3	501203	配偶者からの暴力防止及び被害者保護事業	1 DV防止地域サポーター登録者数	人	100	109	現状のまま継続

<b>特 記 事 項</b>	啓発事業 令和2年度 テーマ「多様な性のあり方」	令和3年度 テーマ「多様な視点×減災対策」
	①男女共同参画パネル展示 ②LGBTリモート討論会 「多様な“性”と“生”～いま私たちにできること～」 ③男女共同参画啓発紙の全戸配布	①男女共同参画パネル展示 ②誰もが安心できる避難所運営を考える 講義、ワークショップ、減災訓練に参加、意見書を市へ提出 ③男女共同参画啓発紙の全戸配布

<b>今 後 の 展 開</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画社会の実現を目指し、年度ごとにテーマを設定して啓発事業を実施する。</li> <li>・男女共同参画は全ての人、生活全般に関わっており、全庁的に取り組む必要があることから、男女共同参画基本計画に位置付けられた事業について進捗管理を行う。</li> <li>・「審議会等委員の女性割合」については、選任を年度中に行う所管課を対象にしたヒアリングを継続する。</li> <li>・DV相談窓口の周知やDV防止の啓発を担う「DV防止地域サポーター」の増員を図る。あわせて、研修参加やケース会議等によりDV相談体制の充実に努める。</li> </ul>
----------------------------------	--

# 令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 1 - 3		
基 本 事 項	施策名	第3節 平和で思いやりのある地域社会づくり	所管部署名	市民生活部		
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり（市民交流部門）	評価責任者	荒川 泰弘		
	施策小項目	1 平和意識の高揚		関連部署名(1)	市民生活部市民参加推進課	
		2 人権教育・同和教育の推進		関連部署名(2)	子ども福祉部地域福祉課	
		3 人権啓発活動の推進		関連部署名(3)	教育部生涯学習課	
4 市民相談の充実			関連部署名(4)			
施策の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦争の悲惨さが理解され、争いのない平和な社会をめざす。</li> <li>優しさと思いやりにあふれ、お互いの人権を尊重し合えるまちをめざす。</li> </ul>		市民の役割	平和や人権に関するイベントや研修会等への参加に努める。		
施策に関する個別計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉川市人権施策推進指針(平成25年度～令和4年度)</li> <li>吉川市人権施策推進指針実施計画(2018年度～2022年度)</li> <li>吉川市同和行政の基本方針</li> <li>吉川市同和教育の基本方針</li> </ul>			行政の役割	広報やリ-フレットを通しての啓発や講演会・研修会等を開催し、平和・人権意識の高揚を図れるように努める。	

区分	指標名(上段)		単位	設定時の値	実績値①(年度)	実績値②(目標年度)	達成状況	最終目標値(目標年度)
	指標の性質(下段)							
①	差別や人権侵害のない社会であると感じる人の割合		%	75.8	72.3	79.4	B	80.0
	増加することが良いとされる指標			H28	R2	R3		R3
標								

評価軸	評価方法		評価点
	指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	
施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	評価の理由・説明 事務事業はおおむね計画どおり実施できており、指標も改善しているが、引き続き事業を実施していく必要がある。 市民ニーズは市民意識調査などで把握を行っており、性的少数者の方の生きづらさ等を軽減し、共に生きるためにパートナーシップ宣誓制度を導入した。 平和や人権に関する事務事業で構成されており、施策の目標を達成するために十分な事務事業となっている。 ※構成する事務事業については裏面を参照	3点
市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった		4点
施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった		4点
施策に関する現状と課題			
<ul style="list-style-type: none"> <li>同和問題をはじめとするあらゆる人権問題に対して正しい理解と認識が深まり、差別を許さないという意識が醸成されてきているが、インターネットへの差別的な書き込み等が発生しており、引き続き、啓発・教育に取り組む必要がある。</li> <li>平和意識の高揚については、戦争を体験し、継承する人が減少している中、様々な世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えていくことが必要となっている。</li> <li>市民が抱える悩みや心配事、苦情などを気軽に相談できるように、市民相談事業を継続することは今後も必要である。</li> </ul>		4点	
		施策評価 レーダーチャート	評価軸①~④の評価点の平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)	
			成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値		
構 成	1	201301	人権推進事業	1 啓発行事・研修会等参加者数	人	500	132	現状のまま継続
	2	803108	人権教育推進事業	1 人権セミナー、人権問題講演会への参加者割合	%	0.52	0.32	現状のまま継続
	3	201302	人権擁護事業	1 人権擁護委員活動延べ人数	人	80	12	現状のまま継続
	4	501110	平和関連事業	1 平和のつどい来場者数	人	80	63	現状のまま継続
	5	301106	戦没者遺族支援事業	1 出席者数	人	100	63	現状のまま継続
	6	201303	市民相談事業	1 法律相談利用率(稼働率)	%	84.0	84.3	手段を改善
す る 事 務 事 業								

**特記事項**

- ・人権セミナーの開催、人権啓発パンフレット及び人権カレンダーの作成・配布等、人権意識の高揚を図る啓発・教育事業を行った。
- ・吉川市平和都市宣言を踏まえ、「戦没者追悼献花」「平和バスツアー」「平和パネル展」など、平和に関する事業を実施した。

**今後の展開**

- ・全ての市民が人権について生涯にわたり学習していくとともに、人権問題に対する正しい理解と認識を深め、差別を許さないという意識がさらに高まるよう啓発活動を継続して行っていく。
- ・戦争の悲惨さと平和の尊さを伝承する事業を、引き続き実施していく。
- ・引き続き、市民が気軽に相談できる市民相談窓口を設置していく。

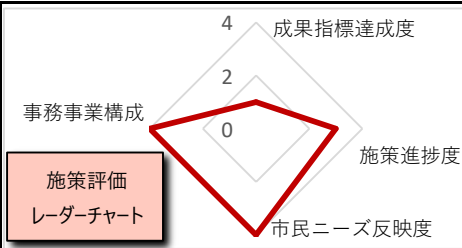


# 令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日		令和4年10月31日		No. 1 - 4		
基 本 事 項	施策名	第4節 国際性豊かなまちづくり		所管部署名	市民生活部	
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり（市民交流部門）		評価責任者	荒川 泰弘	
	施策小項目	1	多文化共生の推進		関連部署名(1)	市民生活部市民参加推進課
		2	国際交流の充実		関連部署名(2)	
					関連部署名(3)	
				関連部署名(4)		
施策の目的	・外国人を含むすべての市民が暮らしやすい「多文化共生社会」をめざす。 ・外国の地域と交流することで国際的な理解が深まることをめざす。			市民の役割	・外国人も同じ地域の住民として互いに認め合い、共に地域を支え合う多文化共生意識を持ち行動することに努める。	
施策に関する個別計画						行政の役割

区分	指標名(上段)	単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質(下段)						
①	多文化共生社会となっていると感じる市民の割合	%	59.7	60.6	64.5	D	70.0
	増加することが良いとされる指標		H28	R2	R3		R3

評価軸	評価方法		評価点
	① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 1点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数
② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	評価理由・説明 コロナ禍の中、日本語教室ボランティアスタッフ養成講座をオンラインで行うなど、感染症対策を行いながら、事業を実施した。	3点
③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民ニーズは市民意識調査などで把握を行っており、「市内在住外国人への情報提供が不足している」という意見を踏まえて、自治連合会と協働で「外国人向け支援制度と外国語が話せるお店マップ」を作成・配布した。	4点
④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	事務事業の構成は、施策の目標を達成するのに十分な内容である。引き続き、市民と協働で事業に取り組んでいく必要がある。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点
施策に関する現状と課題			総合評価
・「多文化共生に対する市民満足度」については、コロナ禍の影響でイベント等が制限されたこともあり、「外国人や外国文化と触れ合える機会が十分でないと感じるから」という理由等から目標値に届かなかった。 ・今後も、地域に多文化共生意識が広がるよう、市民と協働で取り組んでいく必要がある。			3点
施策評価レーダーチャート			評価軸①~④の評価点の平均点



	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値	
構	1	501204	多文化共生推進事業	1 翻訳・通訳実施件数	件	25	4	現状のまま継続
	2	501206	国際交流団体支援事業	1 団体実施事業の延べ参加者数	人	200	292	他の事業に統合
	3	501205	国際姉妹都市交流事業	1 青少年親善訪問団派遣事業参加者数	人	20	0	効率化
成								
す								
る								
事								
務								
事								
業								

<b>特 記 事 項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生講師派遣事業 令和2年度 ①自治連合会 「外国人向け支援制度と外国語が話せるお店マップ」作成 令和3年度 ①自治連合会「自治会加入促進チラシ」翻訳 ②自治連合会「外国人住民アンケート」翻訳</li> <li>・翻訳、通訳ボランティア制度 / 登録者 71人21か国語 ・日本語ボランティアスタッフ要請講座 令和2年度 11人参加 令和3年度 12人参加</li> </ul>
----------------------------	--

<b>今 後 の 展 開</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的に、地域の中で多文化共生の交流や取り組みがなされることが理想である。</li> <li>・施策の目的を達成するため、「多文化共生講師派遣事業」、「翻訳通訳ボランティア制度」及び「日本語教室ボランティアスタッフ要請講座」など、様々な事業や取り組みを講じていく。</li> </ul>
----------------------------------	---



# 令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

評価日	令和4年10月31日	No.	1 - 5
-----	------------	-----	-------

基 本 事 項	施策名	第5節 都市間交流における人づくり	所管部署名	市民生活部	
	まちづくり目標	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり（市民交流部門）	評価責任者	荒川 泰弘	
	施策小項目	1 国内交流の充実	関連部署名(1)	市民生活部市民参加推進課	
			関連部署名(2)		
		関連部署名(3)			
		関連部署名(4)			
施策の目的	・異なる都市、地域の文化などに触れることで、郷土への愛着を高めるとともに、人と人との交流が深まることをめざす。		市民の役割	・国内交流事業への参加を通じて、他地域の文化に触れ、交流を深めることに努める。	
施策に関する個別計画					行政の役割

区分	指標名 (上段)		単位	設定時の値	実績値① (年度)	実績値② (目標年度)	達成状況	最終目標値 (目標年度)
	指標の性質 (下段)							
①	市及び交流活動団体における都市間交流事業に参加した市民の数		人/年	171	0	0	D	200
	増加することが良いとされる指標			H25~H27の平均	R2	R3		R3

評価軸	評価方法		評価点
	① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	
② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50~80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	評価理由・説明 コロナ禍の中、相互に行き来をしての交流はできなかったが、給食センターでのオンライン交流や室根リンゴの販売など、感染症対策を行いながら、交流事業を実施した。	3点
③ 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	市民ニーズは市民意識調査などで把握を行っており、吉川・室根交流協会の意見を反映して、給食センターでのオンライン交流や室根リンゴの販売などにより交流を行った。	4点
④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	事務事業の構成としては、施策の目標を達成するのに十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点

施策に関する現状と課題 ・吉川・室根交流協会の活動支援を行うことにより、友好提携都市である岩手県一関市と、市民を主体とした相互交流事業をはじめ、さまざまな交流を継続的に実施している。 ・事業運営の負担軽減や、新たな協力者の育成が課題となっている。	総合評価 <h2>3点</h2> 評価軸①~④の評価点の平均点
---	------------------------------------

施策評価  
レーダーチャート

	貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)
				成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値	
構	1	501208	国内交流団体支援事業	1 主要事業延べ参加者数	人	10	0	他の事業に統合
	2	501207	国内交流事業	1 <small>市独自の交流により交流した人数の総数(吉川市民・一関市民)</small>	人	10	0	効率化
成								
す								
る								
事								
務								
事								
業								

特 記 事 項	吉川・室根交流協会事業
	令和2年度
	令和3年度
	①室根給食オンライン交流 ②学校給食で室根リングを提供 ③会員向け室根リング販売
	①オンライン対談の様子を一関市のコミュニティFMで放送 ②学校給食で室根リングを提供 ③会員向け室根リング販売

今 後 の 展 開	・引き続き、吉川・室根交流協会の活動を支援することにより、友好提携都市である岩手県一関市との交流を深めていく。
	・事業の運営体制の見直しや新会員の勧誘など、事業の円滑な運営について協力していく。

# 令和4年度 施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

<b>評価日</b>	令和4年10月31日			<b>No.</b>	1 - 6			
<b>基 本 事 項</b>	<b>施策名</b>	第6節 市民参加のまちづくり		<b>所管部署名</b>	市民生活部			
	<b>まちづくり目標</b>	第1章 ふれあい・交流・協働のまちづくり（市民交流部門）		<b>評価責任者</b>	荒川 泰弘			
	<b>施策小項目</b>	1	市民参画の推進		<b>関連部署名(1)</b>	市民生活部市民参加推進課		
		2	市民と行政による協働の推進		<b>関連部署名(2)</b>			
		3	市民活動の支援		<b>関連部署名(3)</b>			
<b>施策の目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が自らの意思に基づいてまちづくりに参加できる環境と機会の充実をめざす。</li> <li>・市民と行政がそれぞれの資源や知恵を持ち寄り、一緒にまちづくりを進めていくことをめざす。</li> <li>・市民活動が活性化することをめざす。</li> </ul>			<b>役 割 分 担</b>	<b>市 民 の 役 割</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの主体として、自らの言動に責任を持ち、行政と共にまちづくりを進めることに努める。</li> </ul>		
<b>施策に関する個別計画</b>	市民と行政との協働に関する基本指針（平成21年度～）						<b>行 政 の 役 割</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な市民参画の実践と職員の意識向上を図る。</li> <li>・市民活動拠点の機能の充実を図る。</li> </ul>

区分	指標名（上段）		単位	設定時の値	実績値① （年度）	実績値② （目標年度）	達成状況	最終目標値 （目標年度）
	指標の性質（下段）							
<b>指 標</b>	<b>①</b>	協働事案件数	件	32	12	12	<b>D</b>	44
		増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3

<b>施 策 の 評 価</b>	評価軸		評価方法		評価点	
	<b>評価軸①</b> 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80~99%)、 C=2点(達成度50~79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。		合計点は 1点		<b>1点</b>
<b>評価軸②</b> 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（100%以上の達成度） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（50~80%程度の達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（50%未満の達成度）		<b>評 価 の 理 由 ・ 説 明</b>		<b>3点</b>	
<b>評価軸③</b> 市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった					<b>4点</b>
<b>評価軸④</b> 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった					
<b>施策に関する現状と課題</b>						<b>総 合 評 価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と行政との協働は、市政運営における市民参加の推進につながるものであり、市民と市職員に対し、情報提供と意識高揚を図ることが必要である。</li> <li>・「市民参加のまちづくり」を進めるうえで大切なのは、より多くの市民参画手続きを実施し、より多くの参加・意見をいただくことである。</li> </ul>				<b>3点</b>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             施策評価 レーダーチャート           </div>				評価軸 ①～④の 評価点の 平均点

貢献 順位	事務事業 番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性 (今後の方針)		
			成果指標名	単位	R3目標値	R3実績値			
構 成	1	501105	市民参画推進事業	1	市民参画手続の実施回数	件	50	90	現状のまま継続
	2	501107	協働推進事業	1	協働事業件数	件	26	12	現状のまま継続
	3	501109	市民活動団体支援事業	1	助成交付要望団体数	数	6	4	現状のまま継続
	4	501108	市民活動推進事業	1	市民活動補償制度登録団体・個人数	数	360	362	現状のまま継続
成 す る 事 務 事 業									

**特記事項**

①市民の専門的知識や経験を市政に活かすため「市民シンクタンク事業」を実施した。  
・市民シンクタンク 研究員数：45名 提言：令和2年度 提言1件、採用1件 令和3年度 提言1件、採用1件

②公益公共的な市民活動団体を支援・育成する「みらいステップアップ助成金事業」を実施した。  
・みらいステップアップ助成金 令和2年度 スタート助成1件、ステップ助成1件 令和3年度 ステップ助成3件

③市民参画審議会において協働事業の第三者評価を実施した。

**今後の展開**

これまでの市民参画推進や市民活動団体支援に係る取り組みを引き続き行くとともに、「市民シンクタンク」や「みらいステップアップ助成金」、「NPO法人認証等事務」などの取り組みを丁寧に進めていく。